

夢叶え人

わびちゃん (岩槻秀明さん)



わびちゃん公式Twitter

気象予報士。自然科学系のライターとして、植物や気象など自然にまつわる書籍の制作に携わり、著書は20冊以上におよぶ。千葉県立関宿城博物館調査協力員、野田市史編さん委員会専門委員なども務める。宮城県生まれ野田市育ち。



東葛沿線さんぽ

今月も流鉄線沿線です。平和台駅周辺を歩きます。先月ご紹介した流山駅周辺のルートと合わせて歩くこともできますので、健脚の方はぜひチャレンジしてみてください。

いきなり余談になりませんが、流山が県庁所在地だったことはご存知でしょうか？大政奉還を経て、このあたりのエリアは葛飾県となり、流山に県庁



恵比寿像

が置かれました。明治5年の府県統合により印旛郡が誕生し、流山の県庁が仮県庁としてそのまま使われましたが、翌年に印旛郡と木更津郡の合併によって千葉県が誕生したため、千葉町に移転しました。もし、葛飾県もしくは印旛郡が残っていたら、流山が県庁所在地だった今の姿とは全く違った街並みになっていたことでしょう。

昔ながらの風情が残る細い路地を歩きながら、「たれば」を想像しながら歩くのも面白いかもしれません。

天晴通りという名の道を歩きます。(とは言っても看板は見当たりませんが)なぜ天晴通りという名前がついているのだろうか？と疑問に感じながら歩いていると、流山七福神の看板が、ということになります。

長流寺の近くには一茶双樹記念館があります。一茶とは江戸時代の俳人小林一茶のこと、双樹というのは、みりんの開発者のひとりとも言われている地元の醸造家、秋元三左衛門の併号。双樹は小林



無患子の木

一茶を援助しつつ交流を深めていたのだそう。当時の記録によると、一茶は流山に50回以上も訪れていたのだとか。交通インフラもない江戸時代にその回数はいくらなのでは？

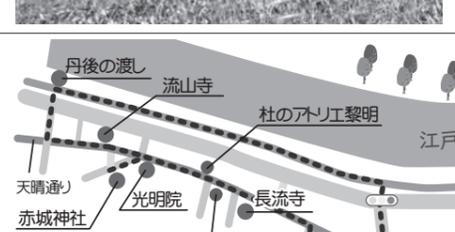
双樹記念館横の通り沿いにある看板で天晴通り「謎」がついに解明します。天晴は、江戸時代に流山で生まれた白味噌の名前で、双樹の秋元家が開設しました。この辺りに秋元家の工場があったことから天晴通りという名前

われる、字が書ける葉を持つ「多羅葉」で、流山の神社・寺院で唯一ここにありののだとか。

もう一つが「無患子」の木で羽根つきの実として使われています。看板には「実が地面に落ちていたらどうぞお持ち帰りください」との太腹なお言葉、でも地面に実は見つかりません。枝にはまだまだ実がついています。

光明院に隣接するのは、赤城神社です。鎌倉時代に最初に建立されたとも言われている神社には赤城山の土もしくはお札が流れたという伝説があり、それが流山という地名の由来だそう。神社で必見なのは鳥居にかかると見事な鳥居、重さは何と500kg、氏子や地元住民が例年10月に、1日かけて作り上げます。そして参道を進むと本殿に通じる2つの階段があります。正面にあるのは急な階段。左横

近頃の脇道を通り、江戸川の手へ。このあたりには丹後の渡しがあり、新撰組の隊士も利用したと言われています。川には橋桁のようなものが見えますが、旧



経路 約2km

は足腰が丈夫だったんだと改めて敬意を抱きました。

次に目指したのは流山寺。ちなみに読み方は「りゅうざんじ」です。ここには大黒像と猿田彦像が祀られています。猿田彦というとヒーロー(都内を中心に展開するヒーローズ)しか知らなかった私には新鮮な発見でした。新撰組の隊士はこの流山寺と光明寺に分宿したそうです。

鎌倉時代から江戸・明治そして現代と、時代の移り変わりを肌で感じるような散歩でした。(写真・文||土肥佳子)



流山寺の大黒像

「植物以外に興味を持つたものは、植物を観察していくうちに昆虫も好きになりました。それから小学生の頃NHKの天気予報になぜか惹かれ、毎週土曜日は、お昼の天気予報に間に合うよう走って下校するほどでした。いわゆる

「17歳で気象予報士に合格されたんですよ」

「小学校高学年になった頃『気象予報士』の国家資格が登場して、テレビで最年少の気象予報士がもてはやされていたんです。それで自分も受けてみようと思って、4回目のチャレンジで合格できました。気象庁まで発表を見に行つて合格を知った時は、嬉しさのあまり飛び跳ね、ポケットの中身を派手にぶちまけてしまったんです(笑)」

「地域に育てて頂いたという思いから、地元野田の自然の魅力を伝えようと2017年に『わびちゃんねる』を開設しました。

「YouTube『わびちゃんねる』について聞かせてください」

「今後の活動について教えてください」

「野田の自然の魅力発信」



「あえて野田のあまり知られていないスポットを選び、身近な生きものを幅広く紹介しています。現在160本ほどの動画をアップしています。」

「その後は、テレビ番組にも多数出演されています」

「自然に興味を持つたのはいつですか」

「物心ついた頃からです。種類を問わず誰も見向きもしないような雑草が特に大好きでした。山と溪谷社の図鑑『野に咲く花』をボロボロになるまで読んで買い替えていました。」

「大学在学中にはJCOMコミュニティチャンネルのお天気キャスターを1年間勤めました。2010年頃から地上波テレビにも呼んで頂けるようになり、バラエティ番組などにも出演しています。」

「最近では自然とふれあう機会が少なくせいか、人と生きものとの関係がかなりぎくしゃくしているように感じます。生物の多様性、自然との付き合い方に興味を持ってもら

「夢のスポーツ! トップアスリートの技術を体感しよう!」

Dream of Sports!

トップアスリートの技術を体感しよう!

流山市

観覧無料



「中央大学女子陸上部 & 流山市内中学校陸上部 交流会」が1月11日、流山市キックマンアリーナで開催される。

加し、第一部では「筋トレ」を中心とした冬期練習方法、第二部では種目別(短距離・長距離・ハードル・投てき)に分かれ、フットボールなどの指導を行う。

主催：中央大学流山白門会、中央大学流山白門会、NPO法人おたかスポーツコミュニケーション流山

写真・文||松原美穂子